



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 東京コスモス電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6772 URL <http://www.tocos-j.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 美樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 植田 聡 (TEL) 046-253-2111  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,519	9.5	307	33.2	429	75.8	324	123.1
2022年3月期第1四半期	2,300	49.4	231	—	244	—	145	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 449百万円 (147.6%) 2022年3月期第1四半期 181百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	229.56	—
2022年3月期第1四半期	96.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,056	5,086	39.0
2022年3月期	12,732	4,679	36.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,086百万円 2022年3月期 4,679百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	0.9	400	△49.7	400	△54.8	250	△60.3	176.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,581,250株	2022年3月期	1,581,250株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	165,724株	2022年3月期	165,626株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,415,570株	2022年3月期1Q	1,515,213株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 7
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 7
(会計方針の変更) .....	P. 7
(セグメント情報等) .....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、ウクライナ侵攻による食糧危機や資源価格高騰により、各国で物価が上昇、金融政策によるインフレ対策が行われるなど、経済の先行きは依然として不透明な様相を呈しております。米国、欧州は経済活動の再開により一部では回復がみられるものの、中国政府によるロックダウンが行われた影響もあり、全体としては企業業績や個人消費がまだ軟調に推移し、景気は一進一退を繰り返しております。日本経済は引き続き半導体不足と資源価格高騰の余波を受け、物価の高騰や電気料金の上昇等により企業業績や個人消費ともに停滞懸念があり、景気回復には予断を許さない状況が続いております。

当社グループの属する電子部品業界においては、次世代通信規格「5G」関連需要等中期的には需要の拡大が予想され、自動車業界においては、中国政府による消費刺激政策などにより、徐々に回復の傾向を示しておりますが、半導体を始めとした部材不足の影響が続いております。

このような情勢下、当社グループは生産効率を向上させるとともに、より当社グループの製品開発力を生かした営業活動を強化してまいりました。ウクライナ情勢の影響により経済が不安定ではありますが、為替では大幅な円安の影響により売上高を引き上げる要因となりました。また、中国等を中心に受注が回復しつつあり、生産部門も需要の増加から生産活動を強化いたしました。その結果、売上高は2,519百万円（前年同四半期比9.5%増）と想定を上回る増収となりました。

利益面では世界的な資源価格の高騰に伴う、原材料価格の値上がり等で売上原価及び輸送価格の上昇により利益を圧迫されましたが、販売価格への転嫁が浸透したことに加え、大幅な円安の影響を受けました。その結果、営業利益は307百万円（前年同四半期比33.2%増）となりました。営業外損益は、為替相場が大幅な円安となったため為替差益115百万円が発生し、経常利益は429百万円（前年同四半期比75.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は324百万円（前年同四半期比123.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 流動資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ466百万円増加し8,250百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が191百万円増加し3,411百万円（前連結会計年度末3,219百万円）、受取手形、売掛金及び契約資産が140百万円増加し2,096百万円（前連結会計年度末1,956百万円）となったことによるものであります。

#### 固定資産

固定資産は、前連結会計年度末に比べ142百万円減少し4,805百万円となりました。主な要因は、減価償却の進捗に伴い有形固定資産が107百万円減少し4,092百万円（前連結会計年度末4,200百万円）となったことによるものであります。

#### 流動負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ0百万円増加し4,244百万円となりました。主な要因は、短期借入金が88百万円減少し1,550百万円（前連結会計年度末1,638百万円）となったものの支払手形及び買掛金が105百万円増加し697百万円（前連結会計年度末592百万円）となったことによるものであります。

#### 固定負債

固定負債は、前連結会計年度末に比べ83百万円減少し3,724百万円となりました。主な要因は、長期借入金が59百万円減少し2,279百万円（前連結会計年度末2,338百万円）、その他に含まれるリース債務が34百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて406百万円増加し5,086百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益324百万円の計上によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,219,813	3,411,242
受取手形、売掛金及び契約資産	1,956,004	2,096,077
電子記録債権	705,878	740,806
商品及び製品	652,655	717,182
仕掛品	355,337	345,276
原材料及び貯蔵品	737,519	758,222
その他	167,099	192,568
貸倒引当金	△9,718	△10,567
流動資産合計	7,784,590	8,250,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,131,065	1,111,065
機械装置及び運搬具（純額）	829,942	776,904
土地	1,715,871	1,715,871
その他（純額）	523,196	488,976
有形固定資産合計	4,200,076	4,092,816
無形固定資産		
リース資産	148,856	136,787
その他	33,988	31,710
無形固定資産合計	182,844	168,498
投資その他の資産		
その他	564,523	544,093
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	564,523	544,093
固定資産合計	4,947,444	4,805,408
資産合計	12,732,035	13,056,218
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	592,278	697,662
電子記録債務	513,410	474,401
短期借入金	1,638,000	1,550,000
1年内返済予定の長期借入金	553,626	575,354
未払法人税等	139,455	124,938
賞与引当金	191,047	224,108
役員賞与引当金	40,000	—
その他	576,573	598,256
流動負債合計	4,244,391	4,244,722
固定負債		
長期借入金	2,338,689	2,279,418
役員退職慰労引当金	7,665	3,071
退職給付に係る負債	550,906	563,255
再評価に係る繰延税金負債	314,794	314,794
その他	595,665	564,121
固定負債合計	3,807,720	3,724,660
負債合計	8,052,111	7,969,382

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,277,000	1,277,000
利益剰余金	2,560,313	2,842,803
自己株式	△231,610	△231,767
株主資本合計	3,605,703	3,888,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,906	88,434
土地再評価差額金	734,519	734,519
為替換算調整勘定	214,800	378,257
退職給付に係る調整累計額	29,994	△2,411
その他の包括利益累計額合計	1,074,220	1,198,799
純資産合計	4,679,923	5,086,835
負債純資産合計	12,732,035	13,056,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,300,772	2,519,403
売上原価	1,750,370	1,863,132
売上総利益	550,401	656,271
販売費及び一般管理費	319,156	348,362
営業利益	231,244	307,908
営業外収益		
受取利息	108	185
受取配当金	4,250	4,707
受取手数料	10,000	—
為替差益	—	115,129
その他	14,944	14,594
営業外収益合計	29,303	134,616
営業外費用		
支払利息	12,824	11,680
為替差損	2,342	—
その他	1,247	1,657
営業外費用合計	16,415	13,337
経常利益	244,132	429,187
特別利益		
投資有価証券売却益	713	—
助成金等収入	11,006	—
特別利益合計	11,719	—
特別損失		
固定資産除売却損	270	29
臨時休業等による損失	10,234	—
特別損失合計	10,504	29
税金等調整前四半期純利益	245,347	429,157
法人税、住民税及び事業税	44,835	74,212
法人税等調整額	54,853	29,986
法人税等合計	99,688	104,199
四半期純利益	145,658	324,958
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,658	324,958

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	145,658	324,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,379	△6,471
為替換算調整勘定	25,025	163,457
退職給付に係る調整額	2,500	△32,405
その他の包括利益合計	35,905	124,579
四半期包括利益	181,563	449,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,563	449,538

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変 抵抗器	車載用 電装部品	計				
売上高							
一時点で移転される財	1,048,697	1,201,294	2,249,991	50,780	2,300,772	—	2,300,772
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	1,048,697	1,201,294	2,249,991	50,780	2,300,772	—	2,300,772
外部顧客への売上高	1,048,697	1,201,294	2,249,991	50,780	2,300,772	—	2,300,772
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,048,697	1,201,294	2,249,991	50,780	2,300,772	—	2,300,772
セグメント利益	230,148	118,805	348,954	14,994	363,948	△132,704	231,244

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△132,704千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変 抵抗器	車載用 電装部品	計				
売上高							
一時点で移転される財	1,193,267	1,199,547	2,392,815	126,588	2,519,403	—	2,519,403
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	1,193,267	1,199,547	2,392,815	126,588	2,519,403	—	2,519,403
外部顧客への売上高	1,193,267	1,199,547	2,392,815	126,588	2,519,403	—	2,519,403
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,193,267	1,199,547	2,392,815	126,588	2,519,403	—	2,519,403
セグメント利益	386,113	70,565	456,678	20,950	477,629	△169,720	307,908

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△169,720千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。